

薬剤部門長宛 薬剤師業務調査

薬剤部門長 殿

アンケート調査 2(救急外来における薬剤師業務について)

施設名： _____

本アンケートにおいて初期救急医療体制、入院を要する救急医療体制、救命救急医療体制(救命センター等)の中で緊急時に受け入れる外来の総称として『救急外来』として表現する。

1. 救急集中治療領域の病棟への薬剤師の配置等について伺います

1-1～3 薬剤師を配置している重症系病棟(複数回答可)

専従:1日平均8割以上従事

専任:1日平均5割以上8割未満従事

兼務:1日平均5割未満従事

病棟	勤務形態	1日あたり薬剤師業務時間
救命救急センター (高度含む)	<input type="checkbox"/> 専従 <input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 兼任	()時間
ICU	<input type="checkbox"/> 専従 <input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 兼任	()時間
HCU	<input type="checkbox"/> 専従 <input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 兼任	()時間
CCU	<input type="checkbox"/> 専従 <input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 兼任	()時間
SICU	<input type="checkbox"/> 専従 <input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 兼任	()時間
SCU	<input type="checkbox"/> 専従 <input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 兼任	()時間
NICU	<input type="checkbox"/> 専従 <input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 兼任	()時間

その他の重症系病床、勤務形態、1日当たりの薬剤師業務時間

()

1-4 病棟薬剤師業務実施加算2の取得の有無

有 無

1-5 日本臨床救急医学会 救急認定薬剤師の有無、人数

有 無 ()人

1-6 薬剤師の日本DMAT隊員有無、人数

有 無 ()人

1-7 日本災害医学会 PhDLS 受講者の有無、人数

有 無 ()人

1-8 次のコースの受講者の有無(複数回答可)、人数

- ICLS (_____人)
- ACLS (_____人)
- JPTEC (_____人)
- PSLS (_____人)
- FCCS (_____人)
- MCLS (_____人)
- その他(救急集中治療、災害関連)(_____人)

1-9 救急集中治療関連の学会の所属について

- 日本臨床救急医学会 (_____人)
- 日本救急医学会 (_____人)
- 日本集中治療医学会 (_____人)
- 日本中毒学会 (_____人)
- 日本災害医学会 (_____人)
- その他救急集中治療関連 (学会名と人数)

(_____)

2. 救急患者受け入れへの薬剤師の関与について伺います

2-1 救急外来への薬剤師の関与の有無

(DIで電話対応も関与とする、薬品管理のみは関与なしとする)

- 有 無

2-2 救急外来の薬剤師業務体制について入力例を参考に回答をお願いします

《入力例》

<p>例 1) 平日、休日の日勤のみ常駐、夜間は調剤室薬剤師がオンコール(電話対応)の場合</p> <ul style="list-style-type: none">・常駐(<input type="checkbox"/>24 時間、<input checked="" type="checkbox"/> 平日日勤帯、<input checked="" type="checkbox"/> 休日日勤帯、<input type="checkbox"/>夜間)・オンコール(TELによる情報提供)(<input type="checkbox"/>24 時間、<input type="checkbox"/>平日日勤帯、<input type="checkbox"/>休日日勤帯、<input checked="" type="checkbox"/>夜間) <p>例 2) 平日は常駐だが、夜間・休日はオンコール(電話対応)の場合</p> <ul style="list-style-type: none">・常駐(<input type="checkbox"/>24 時間、<input checked="" type="checkbox"/> 平日日勤帯、<input type="checkbox"/> 休日日勤帯、<input type="checkbox"/>夜間)・オンコール(TELによる情報提供)(<input type="checkbox"/>24 時間、<input type="checkbox"/>平日日勤帯、<input checked="" type="checkbox"/> 休日日勤帯、<input checked="" type="checkbox"/>夜間)

《回答》

- ・常駐(24 時間、 平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)
 - ・オンコール(救急外来へ向かう)(24 時間、平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)
 - ・オンコール(TELによる情報提供)(24 時間、平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)
- 間)
- ・薬品管理のみ(管理薬の確認や医薬品の期限管理のみを行っている場合)
 - ・薬剤師は関与していない

・□その他

3. 救急外来現場での関与がある場合(関与がない場合は項目4にお進みください)

3-1 勤務形態

専従 専任 兼任

専従:1日平均8割以上従事

専任:1日平均5割以上8割未満従事

兼務:1日平均5割未満従事

3-2 1日あたりの薬剤師業務時間

()時間

3-3 関与の経緯について教えてください(複数回答可)

薬剤部が自主的に関与

医師・病院からの要望

その他

3-4 オンコール(救急外来へ向かう)の場合の取り決め(複数回答可)

全患者

特定の患者(脳卒中、心筋梗塞、外傷、中毒、COVID19、災害(多傷病者搬送等)、その他())

特に取り決めなし

3-5 オンコール(救急外来へ向かう)の場合関与している薬剤師(複数回答可)

救命救急センターの薬剤師

ICUの薬剤師

HCUの薬剤師

その他クリティカルケアユニットの薬剤師

入退院センターの薬剤師

一般病棟薬剤師

その他の薬剤師(業務場所)

3-6 業務内容(複数回答可)

- 1 実施している
- 2 実施していない
- 3 実施していないが今後取り組みたい

		1 実施している	2 実施していない	3 実施していないが今後取り組みたい
1	薬品管理 (麻薬・向精神薬・筋弛緩薬の管理も含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	薬剤の準備(薬剤の取り揃え 救急外来または薬剤部において)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	情報収集および評価(薬歴、アレルギー歴等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	薬剤調製(救急外来での調製)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	診療補助業務 [静脈路確保の補助、CPR 時の補助(タイムキーパー等)]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	使用薬の確認照合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	薬物治療の提案(推奨抗菌薬の提案、ガイドラインに沿った治療提案等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	TDM(中毒患者の機器分析以外、例:痙攣重積の抗てんかん薬など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	薬剤性の副作用のモニタリングと情報提供	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	用法用量・相互作用の確認	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	注射ルート管理(配合変化等に伴うルート提案等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	中毒に関する情報提供(致死量、半減期、症状等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	中毒の分析(機器分析・測定、簡易薬物検出キットでの分析)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	フィジカルアセスメント(バイタル測定含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	患者・家族への薬剤の説明	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	プロトコールに基づいた代行入力(処方、注射、検査)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	カンファレンス・引き継ぎ等への参加(救命センター、救急科等のカンファレンスを含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

その他

- ・実施している()
- ・実施していないが今後取り組みたい()

3-7 薬歴確認の手段(複数回答可)

- お薬手帳
- 問い合わせ(かかりつけ医)
- 問い合わせ(薬局)
- 家族等へ連絡
- 救急隊
- その他

()

3-8 救急外来での薬剤師業務の重要度はどのようにお考えですか？

- 1 かなり重要
- 2 重要
- 3 あまり重要ではない
- 4 重要ではない

3-9 3-8 の理由(複数選択可)

- 早期薬歴把握
- 医師の負担軽減
- 医療の質の向上
- 薬剤適正使用
- その他

()

4. 救急外来現場での関与がない場合

4-1 関与できない理由(複数回答可)

- マンパワーがない
- 診療報酬がない
- 要望がない
- スキルを持った人材がない
- 業務内容が定まっていない
- その他

()

4-2 今後関与を検討していますか？

- 1 具体的に検討している
- 2 検討している
- 3 あまり検討していない
- 4 検討していない

4-3 理由

()

4-4 関与の検討がある場合(配置できる業務形態:理想)
入力例を参考に回答をお願いします

《入力例》

- 例 1) 平日、休日の日勤のみ常駐、夜間はオンコール(電話対応)の場合
- ・常駐(24 時間、 平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)
 - ・オンコール(TEL による情報提供)(24 時間、平日日勤帯、休日日勤帯、夜間)

- 例 2) 平日は常駐だが、夜間・休日はオンコール(電話対応)の場合
- ・常駐(24 時間、 平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)
 - ・オンコール(TEL による情報提供)(24 時間、平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)

- ・常駐(24 時間、 平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)
- ・オンコール(救急外来へ向かう)(24 時間、平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)
- ・オンコール(TEL による情報提供)(24 時間、平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)

4-4 関与の検討がある場合(配置できる業務形態:現状可能と思われる形態)

上記入力例を参考に回答をお願いします

- ・常駐(24 時間、 平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)
- ・オンコール(救急外来へ向かう)(24 時間、平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)
- ・オンコール(TEL による情報提供)(24 時間、平日日勤帯、 休日日勤帯、夜間)

4-5 関与の検討がある場合、今後行いたい業務(複数回答可)

- 薬品管理(麻薬・向精神薬・筋弛緩薬の管理も含む)
- 薬剤の準備(薬剤の取り揃え 救急外来または薬剤部において)
- 情報収集および評価(患者、家族、救急隊等からの患者情報、薬歴、アレルギー歴等)
- 薬剤調製(救急外来での調製)
- 診療補助業務[静脈路確保の補助、CPR 時の補助(タイムキーパー等)]
- 使用薬の確認照合
- 薬物治療の提案(推奨抗菌薬の提案、ガイドラインに沿った治療提案等)
- TDM(中毒患者の機器分析以外、例:痙攣重積の抗てんかん薬など)
- 薬剤性の副作用のモニタリングと情報提供
- 用法用量・相互作用の確認
- 注射ルート管理(配合変化等に伴うルート提案等)
- 中毒に関する情報提供(致死量、半減期、症状等)
- 中毒の分析(機器分析・測定、簡易薬物検出キットでの分析)
- フィジカルアセスメント(バイタル測定含む)
- 患者・家族への薬剤の説明
- プロトコルに基づいた代行入力(処方、注射、検査等)
- カンファレンス・引き継ぎ等への参加(救命センター、救急科等のカンファを含む)
- その他

()

4-6 関与したい場合、何があれば救急外来現場に関与できますか(上位5つ)

- 現状でも関与可能(形態は問わない)
- マンパワー
- 診療報酬
- 病院からの要望
- スキルを持った人材
- 業務指針
- 教育体制
- その他

()

4-7 救急外来での薬剤師業務の重要度はどのようにお考えですか？

- 1 かなり重要
- 2 重要
- 3 あまり重要ではない
- 4 重要ではない

4-8 4-7 の理由(複数選択可)

- 早期薬歴把握
- 医師の負担軽減
- 医療の質の向上
- 薬剤適正使用
- その他

()

5. タスクシフト・シェアについて(救急外来に関与がある場合)

5-1 救急外来でのプロトコールに基づく薬物療法(PBPM)の取り組み

- 有 無

5-2 有りの場合 内容

()

5-3 タスクシフト・シェアとして有効と思われる業務はありますか？

- 薬品管理(麻薬・向精神薬・筋弛緩薬の管理も含む)
- 薬剤の準備(薬剤の取り揃え 救急外来または薬剤部において)
- 情報収集および評価(患者、家族、救急隊等からの患者情報、薬歴、アレルギー歴等)
- 薬剤調製(救急外来での調製)
- 診療補助業務[静脈路確保の補助、CPR 時の補助(タイムキーパー等)]
- 使用薬の確認照合
- 薬物治療の提案(推奨抗菌薬の提案、ガイドラインに沿った治療提案等)
- TDM(中毒患者の機器分析以外、例:痙攣重積の抗てんかん薬など)
- 薬剤性の副作用のモニタリングと情報提供
- 用法用量・相互作用の確認
- 注射ルート管理(配合変化等に伴うルート提案等)
- 中毒に関する情報提供(致死量、半減期、症状等)
- 中毒の分析(機器分析・測定、簡易薬物検出キットでの分析)
- フィジカルアセスメント(バイタル測定含む)
- 患者・家族への薬剤の説明
- プロトコールに基づいた代行入力(処方、注射、検査等)
- カンファレンス・引き継ぎ等への参加(救命センター、救急科等のカンファを含む)
- その他

()

5-4 その理由

()

5-5 タスクシフト・シェアとして、データをまとめている、収集していますか

- はい いいえ

5-6 タスクシフト・シェアについて特記事項があれば教えてください。

内容

()

6. 連携について（救急外来へ関与がある場合）

各医療機関・薬剤師等との連携（救急外来に関与する薬剤師がおこなっていること）

6-1 病棟薬剤師との連携の有無

有 無

連携の方法：口頭、記録を記載

その他

()

6-2 かかりつけ医との連携の有無

有 無

連携方法の方法

情報を受ける：口頭、サマリー等文書

その他

()

情報を発信する：口頭、サマリー等文書

その他

()

6-3 薬局との連携の有無

有 無

連携方法の方法

情報を受ける：口頭、サマリー等文書

その他

()

情報を発信する：口頭、サマリー等文書

その他

()

6-4 転院の場合 薬剤師との連携の有無

有 無

連携方法の方法

情報を受ける:口頭、サマリー等文書

その他

()

情報を発信する:口頭、サマリー等文書

その他

()

6-5 地域連携室との連携の有無:有 無

6-6 その他連携先

()

6-7 連携について特記事項があれば教えてください

()

7. 救急外来における教育について(救急外来へ関与がある場合)

7-1 救急外来における薬学実務実習の有無

有 無

7-2 指導要領(SBOs、カリキュラム、実習内容)はありますか？

有 無

有りの場合、簡単な内容

()

7-3 実習方法

現場(指導下での実施)、現場(見学)、講義

その他

()

7-4 実習内容(現場の場合)

- 薬品管理(麻薬・向精神薬・筋弛緩薬の管理も含む)
- 薬剤の準備(薬剤の取り揃え 救急外来または薬剤部において)
- 情報収集および評価(患者、家族、救急隊等からの患者情報、薬歴、アレルギー歴等)
- 薬剤調製(救急外来での調製)
- 診療補助業務[静脈路確保の補助、CPR 時の補助(タイムキーパー等)]
- 使用薬の確認照合
- 薬物治療の提案(推奨抗菌薬の提案、ガイドラインに沿った治療提案等)
- TDM(中毒患者の機器分析以外、例:痙攣重積の抗てんかん薬など)
- 薬剤性の副作用のモニタリングと情報提供
- 用法用量・相互作用の確認
- 注射ルート管理(配合変化等に伴うルート提案等)
- 中毒に関する情報提供(致死量、半減期、症状等)
- 中毒の分析(機器分析・測定、簡易薬物検出キットでの分析)
- フィジカルアセスメント(バイタル測定含む)
- 患者・家族への薬剤の説明
- プロトコールに基づいた代行入力(処方、注射、検査等)
- カンファレンス・引き継ぎ等への参加(救命センター、救急科等のカンファを含む)
- その他

()

7-5 救急外来における薬学実務実習の必要性の有無、理由

- 有 無

理由

()

8 救急外来業務についてご意見があればお願いします

()

ご協力ありがとうございました。

アンケート調査 1(基礎項目)と共にご返信頂きますようお願い致します。

FAX 返信先: 058-230-7093

(岐阜大学医学部附属病院薬剤部)